

遠近両用眼内レンズのご案内

～老眼も治る最先端のマルチフォーカルIOL～

マルチフォーカルIOL（遠近両用眼内レンズ）は、最先端の光学理論でレンズが光を分けるように設計されており、2カ所に焦点が合うようになっています。日常生活は、ほぼメガネなしで生活できるようになります。ただし、細かい文字を見る際などは、メガネをかけるほうがよりはっきりみえる場合もあります。

あまきクリニックで使用している遠近両用レンズは、Alcon社（アメリカ）のReSTOR(レストア)などで、2007年厚生労働省により認可されています。

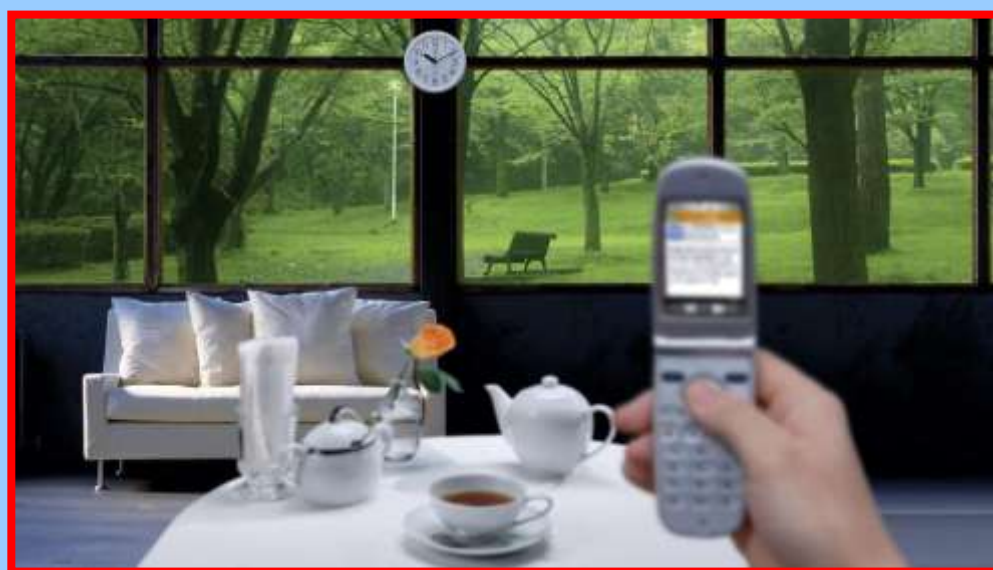
このレンズは、夜間暗く感じることや、ハローやグレアなどの光のにじみが少なくなるように設計・開発されています。

多くの白内障患者様に適応がありますが、一部の方には適さない場合もございます。適応については、診察の上、医師にお尋ねくださいませ。

保険適応外手術のため、片眼につき、42万円（術後3ヶ月以内の検査を含む）かかりますが、厚生労働省にも認可された、新しい技術を手に入れるチャンスとお考えください。

通常の眼内レンズの見え方

※遠くにピントをあわせた場合



遠くにだけピントがあいます。近くの距離を見るには老眼鏡が必要です。

遠近両用眼内レンズの見え方



遠くと近くの2ヶ所にピントがあうので、老眼鏡をかけることが少なくてすみます。

あまきクリニック